MFバンコク2019

参加記

2019/10/11（金）-2019/10/13（日）

Central Plaza Ladprao

昔よりはだいぶ円安になったものの、

タイは安くておいしいものが多い国

1年前のバンコク本でも使ったよこのコピー

目次

この本について 2

MF バンコク 2019 について 2

航空券を確保し、MF バンコクに参加を決定 2

宿を決定 3

2019 年 10 月 10 日(木)

バンコクへ 4

タクシーでホテルに到着 4

入室 6

ユニオンモールで夕食 6

シーロムへ 7

パッポン・ナイトバザール 7

フーターズ（シーロム店） 8

MF 会場を下見 9

ホテルからテスコへ 10

バンコク初日終了 10

2019 年 10 月 11 日(金)

MF 初日の朝 11

裏口から会場入り 11

めちゃくちゃ無駄足 13

早起き LCT シールド 14

ダブルアップシールド 15

フライト LCT シールド　ポッド 11 16

今夜の予定と小休止 17

合流して出発 17

チャトゥチャク・ウイークエンド・マーケット 18

口直しの夕食 19

バイタクにチャレンジ 19

2019 年 10 月 12 日(土)

GP 本戦の朝 21

会場入り 21

GP 本戦 22

アニメイトへ 24

鍋をつつく 25

ホテル近くの足マッサージ 26

2019 年 10 月 13 日(日)

最終日 27

チャトゥチャク・ウイークエンド・マーケット再訪 27

マーケットで買い物 28

マーケットの足マッサージ 29

会場入り 29

スペシャル・コンボ 30

ダブルアップ・シールド 30

ココイチ 32

シールド 3 32

夕食 33

ドンムアン空港へ 34

出国 36

帰国 36

この本について

本書は2019年10月11日（金）～13（日）にかけバンコクのCentral Plaza Ladpraoで開催されたマジック・ザ・ギャザリングのイベントであるマジックフェスト（MFバンコク2019）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。
現地の金額表記はバーツで行いました。為替レートは１バーツ=3.6円くらいだったようです。

MFバンコク2019について

MF（MagicFest）というのは１年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。世界中から500-3000人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも１年に４回ほど開催されます。MFバンコク2019（※１）は、バンコクで2019年に開催された大会ということになります。主催はChannel Fireball（※２）であり会場はCentral Plaza Ladprao（※3）でした。

去年まではこのイベントは「GP（グランプリ）」と呼ばれていましたが、今年からは「GP」は「本戦」のみを指し、イベント全体は「MF」と呼称するようになっています。

※1　https://pandaevents.cn/enroll.php?city=GP%20Bangkok
※2　http://store.channelfireball.com/
※3　http://www.centralplaza.co.th/lardprao/directory.asp

航空券を確保し、MFバンコクに参加を決定

基本的にバンコクでMFが開催されたら行くことは決めていたので、2018年10月5日に「2019年のMFの予定」が発表されそこに「10/11 Bangkok」と書かれていた時点で、

まだ１年以上あったしフォーマットもこの時点では不明であったものの行くことは決めておりました。
それから一か月。11 月 8 日に LCC スクートがセールを開始し、そこで成田-バンコクの安い時間の便を選ぶと、帰りの荷物増量オプション（スクートは 10kg まで無料ですが、確実にオーバーするので）を入れても往復で総額 31891 円で行けることが分かりましたので、これならもう考える必要はないなということで、ぽちってしまいました。
木曜の朝に成田を出て日曜の夜にバンコクを出る便で、月曜日は祝日（体育の日）なので都合２日の有休を取得する計算です。基本的これで MF バンコク 2019 への参加は決定。

ちなみにここで６月の台北への便を二重に取得してしまう大失敗をしてしまいました（MF 台北 2019 参加記を参照）。

宿を決定

MF 会場が Central Plaza Ladprao であることも発表されていたので、同時にとりあえず会場から徒歩圏内と思われる 500m くらい離れたキャンセル可能な安宿をおさえました。
一応は個室シャワーとトイレがあって一泊２千円くらいです。やすい。
しかし 2019 年の春になると「会場敷地内の５つ星ホテルでも１泊１万円」「会場から 200m くらいの３つ星ホテルでも１泊４千円」ということを知ったため「そこまで安宿を攻めることないし、会場に近いの大事だよね」ということで思いなおして後者のホテルの「Apartelle Jatujak Hotel（※１）」と確定しキャンセル不能なツインを木～日まで予約しました。相部屋にすれば一泊２千円で済みますが、１人でも十分な安さです。
その後、フォーマットがリミテッドであることを知って狂喜したり、準備を詰めたりしていた９月 18 日に、MF バンコクに参加予定のちぇけださんが相部屋を希望してきたので応じて宿に連絡。あとは金澤さん山田さんとの合流予定なども詰めて当日を待ちました。

※1　https://www.expedia.co.jp/Bangkok-Hotels-Apartelle-Jatujak-Hotel.h23359204.Hotel-Information?chkin=2019%2F10%2F10&chkout=2019%2F10%2F13&rm1=a2

2019年10月10日（木）　バンコクへ

６時前に起床し６時20分過ぎには家を出て亀有行きのバスの始発に乗り、６時50分には青戸駅前着。７時過ぎの特急に乗り８時過ぎには空港第２ビルに到着。その15分後にはチェックインを済ませてからマクドナルドへ。

朝食後セキュリティへ。係員が「パスポートプリーズ」と言ってきたので、自分の日本のパスポートを見せると「失礼しました」と言ってくる。そんなにガイジン顔ですか俺。

何ごともなくセキュリティとイミグレを通過し、ゲート85への長い道を歩いて、途中の売店で機内に持ち込む飲み物を買い９時15分にはゲート前で待つ。

ほどなく搭乗が開始され、９時半には機内へ。

少し待って定刻通りに10時過ぎには出発。

機内で自分は中央３席の通路側だったのですが、隣が空席でこれはラッキーだと思っていたら、反対側のおっさんがCAに言って席を移動した結果**３席を占有できる**状態に。

そこそこ満席だったので周囲を見渡してもそんな席は皆無なので最初は遠慮しつつ中央の席に王様座りをしながらノートPCを開いてCivilizationVIを遊んでいたりしたのですが、バッテリーが切れてしまい、やがて退屈で眠くもなってきたのでとうとう３席を使用して横になって寝てしまいます（笑）。

このおかげでそれほど疲れずに７時間のフライトを終えて、日本時間16時半、バンコク時間14時半過ぎに着陸しました（ここからはバンコク時間で記します）。

タクシーでホテルに到着

15時過ぎに入国を終え５日使い放題の4GのSIMを170バーツで買います（安いな…）。まだ去年のバーツがだいぶ残っていたのでATMは使わずに移動を開始。当初の予定ではモーチットまでバスで移動して徒歩移動？も考えたのですが、荷物もあるのでやはり空港

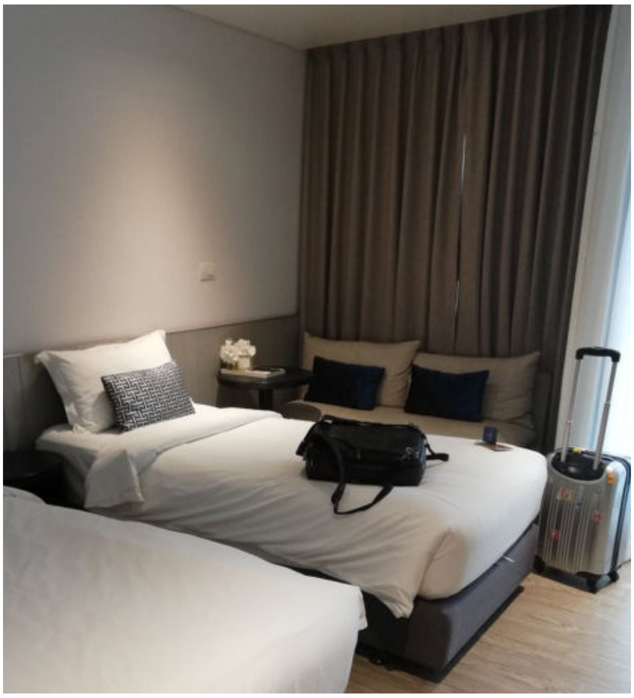
タクシーでホテルまで行くことにしました。空港のタクシー受付で整理券を貰って 15 人ほど待ち、自分の番が来るなりカウンターで目的地を言って用紙を貰って外へ。出た所で待ち構えていた運転手に用紙を渡して 15 時半、乗車。
目的のホテルの英語住所とグーグルマップ上のスポットをスマホで見せ出発。あらかじめ Shanin さん（下コラム）から「タクシーはボッタくるから必ずメーターを倒せ」と釘を刺されていたので見ると案の定メーターを倒していない（笑）ので「メーターを倒して」というと「200 バーツでいいよ」とか言ってきたものの相場不明なので「いやメーターでやってくれ」と言うと、相手も別にそれ以上は抗わずにメーターを倒しての出発。

Shanin さん（※１）は現地マジックショップの関係者らしいレベル２ジャッジなのですが、出発の前に「MF プレイヤーへのタイの交通ガイド」「会場への行き方」という素晴らしい文書を書いていたので、思わず自分が勝手に訳して（笑）日本向けにも紹介したうえ（※２）、フェースブックのフレンドになりました。

※1 https://www.facebook.com/bugong
※2 https://otakutalker.diarynote.jp/201909301902448331/

運転手はホテルのだいたいの位置は把握していたものの正確なルートは不明だったようなので「ホテルの電話番号をくれ」と言うのでエクスペディアの URL を探すも、どうやら現地の電話番号が掲載されていません（怒）。やむなく番号がないことを伝えて、住所と地図をよく見せてまずは行ってもらいます。
あとは基本、グーグルマップで現在地を確認しつつ移動。時折すこしの渋滞で止まるも、正しい道を進んでくれてこちらの誘導にも従って 30 分ほどで無事にホテルに到着。よしうまくいった。ちなみにメーターを見たらぴったり 200 バーツでした（笑）。運転手は別にぼる気はなかったみたいです。まぁミャンマーもそうだったけど、渋滞の酷い国では目的地と相場さえ分かっていればメーター制より交渉制のほうがストレスがないようにも思えます（何しろ渋滞で停止していてもメーターは回り続けるわけで）。
空港利用料 50 バーツを加えて 250 バーツを支払ってホテルに入る。
普通にチェックイン。カードキーのデポジット 100 バーツを要求されたので 500 バーツ紙幣を出したら、しばらく釣り銭を探してカウンターや奥に行った後に「まあいいや」と払わずに解決（笑）。カードキーを受け取ってエレベーターで 505 号室へ。

入室



部屋に入る。うん、悪くないじゃないの。窓際のベッドに荷物を置き部屋チェック。ノートPCを開いて机のコンセントを差し起動。起動後に部屋Wifiに接続。良好だ。テレビチェック。問題はないが日本語のチャンネルもアニメチャンネルもエロ系のチャンネルもないようなので切る。

ユニオンモールで夕食

16時半にホテルを出る。まだ明るいがむっとする暑さ。まずは会場に行ってみることを考えMRTのパホンヨーティン駅を目指して移動開始。タクシーで来た通りを徒歩で逆走。途中商店街があり屋台もある。このへんで食事にするのも悪くないかな…とも思いつつも10分ほど歩いて汗だくに。ここからMRT駅を探して大型ショーピングモール「ユニオンモール」に入り地下に降りると、フードコートを発見。そういえば昼飯がまだだったな…

とも気がついたのでガパオライスを注文することにする。注文すると「現金ではなくて、カード」と言われたので財布のクレカを出すと「あそこで売ってるカード」と言われた。なるほどと思ってカウンターへ。値段を聞き忘れたがまぁ100バーツはするまいと思って課金してプリペイドカードを受け取り決済。45バーツでした。

そして出てくるガパオライス。**うまい！**

この辛さと美味さはもう最高！（写真は撮り忘れました）

さらにフードコートの別の店でペットボトル水を同様に購入。よく冷えていて最高。このプリペイドカードは１日有効らしいので、カウンターでカードを返却して残金を貰う。

シーロムへ

食事を終えると17時。当初は今日はサイアムのアニメイト等に行ってからシーロムのフーターズまで行く予定だったのだが、ここからBTS駅までさらに歩くのも面倒だった（さらにサイアムからシーロムまで歩くのも）ので、まずはMRTで行けるシーロムへと直行することにした。ついでに会場の下見も明日の朝でいいやと判断。
ともあれMRT駅まで移動してシーロムまでの切符を購入、42バーツ。そして買ってから気がついたが、これからフーターズに行くにしても**いま夕食を食べてしまった**ではないか俺は…まあ、別にあそこの料理が目当てなわけでもない（笑）のだから、飲み物とケーキでもつまんでグッズを買って帰ることにしよう。
そろそろ財布のバーツの底が見えてきたので駅のATMで１万バーツをおろす。手数料が220バーツも取られるのに一瞬躊躇するもやむなし。清算の際はこの手数料も勘案せねば。
MRTで移動。そろそろ18時だからこれからシーロムとサイアムの制覇は無理そうなので今夜はもうシーロムだけに絞ることにしよう。ということでシーロムを観光ガイドで調べたら「パッポン・ナイトバザール」というのを発見。これでいいや。
18時前にシーロム駅に到着。駅から出るなり「世界の山ちゃん」があり、そこかしこに日本語の看板があるアウェイ感のなさ。

パッポン・ナイトバザール

シーロム駅からは少し歩いて、パッポン・ナイトバザールに到着。さっそく中に入ると、土産物の屋台がずらり。ふむふむ…とウキウキしつつ回り始めるも、どうも自分には興味ゼロの貴金属やら時計（もちろんニセモノだろう）をずらりと並べた屋台ばかり。お馴染Ｔシャツの屋台もあるが、ただの著作権無視のキャラものＴシャツやパロディＴシャツは

やや食傷気味で、特に心が動かない。少し歩くと同じ品揃えのシャツの露店があることもあり、財布の紐を開くには至らず。まあ最終的には「来たのに手ぶらで帰るのもなあ」と思って「NASA」の変なＴシャツを１枚だけ買ったのですが。

心が踊らない要因として**食べ物系の屋台がない**ことも挙げていいかもしれない。周囲の飲食店に誘導する腹積もりなのかもしれないけど。
あと「パッポン」という名前でピンと来る読者もいるかもしれませんが**風俗店**はそこそこ露店横にあり。
「マッサージキモチイイよ」「SEX あるよ」という客引きのオバちゃんに声をかけられ。
聞いてみた所では（聞くなよ）エロマッサージで総額３千バーツくらいのようだ。

フーターズ（シーロム店）

さほど収穫もなく「フーターズに行くか…」とナイトバザールを後にする。
グーグルマップで、フーターズシーロム店の位置を確認しつつ駅前に移動。
ナイトバザールから一本横の道に入ると、ずらりと風俗店が並ぶ風景に「おお」と思うも、それを横目にしながら健康的なアメリカン・レストラン（笑）へ。
19 時半に入店。カウンター席に座ってコーラを頼む。
自分のテーブルの担当のフーターズガールが、ナプキンに「SOM」という本人の名前と蜜柑の絵を描き描きしてくる。ふむふむ。軽く話をしたりケーキを追加したり、トイレの場所を聞いたりいつものマグカップを買ったりする（2019 年カレンダーがおまけ）。

SOMちゃんがまた来てナプキンに書き足し。何だろうと思ったら「チャリティーのショットの200バーツを寄付してくれると、自分にキックバック50バーツが入ります」という説明（表紙）。ストレートだね（笑）。そういうの、嫌いじゃないです。
「ショット」というのを小さいグラスの酒かと思ったので躊躇するもその場で現金を渡したらロゴの入ったリストバンドをくれた。これならOK。
ここのフーターズにはダンスタイムがあるのに気を良くしたりしつつ、コーラをお代わりして会計をして出る。総額1000バーツくらいだったかな。気にしない気にしない。

しかしあとでレシートを見たら「チャリティー200バーツ」と書かれていた。…あれ？
もしかして200バーツを**2回取られた**？（笑）

MF会場を下見

20時過ぎにフーターズを出てBTSシーロム駅へ。終点まで44バーツ。まだ宵の口で、足と体力も回復したので、やはり明日からのためにMF会場を下見しておくことにする。

BTSを終点ハヤエック・ラットプラオ駅で降り、Shaninさんの案内（P.4）に従い1番出口からセントラルプラザに入りガイドの通り迷わずに会場前へ。よし。
ただし明日は、このモールが10時に開店する前の9時過ぎには会場入りしなければならないのでこのルートは使えない。
そのための裏口から入るルートも聞いてあったので、これは結局、明日ぶっつけになろう。

ホテルからテスコへ

とりあえず会場からホテルに戻ることにする。まずはユニオンモールに戻るか…と思って案内を見ると、3 階の歩道橋を経由して行けるらしいことが判明。しかしユニオンモールから反対側のホテル側の出口に出るまでにも何百メートルかモール内を歩く羽目になるしそれだけで結構疲れる。

ホテル側の出口から地上に出ると、ここは MRT 駅の出口でもあるので数台のバイタクが待機してもいたりしたのですが、とりあえず来た道を歩き、10 分歩いてホテルに戻る。

しかしこれ会場まで徒歩で 30 分くらい見たほうがよさそうだなぁ…おかしいな、地図で見たらホテルから会場までは直線距離で 200m くらいだと思ったのに。

後で判明しますが、実は盛大にルートを間違えて遠回りしていました（P.13）。

部屋に戻って荷物を置き、アイスでも食べたいと思ったので部屋を出てフロントに近くのコンビニかスーパーの場所を聞くと、近くのテスコへの行き方を教えられる。道路でなくテスコの駐車場を突っ切っていくのが一番近いらしい（笑）。

グーグルマップの助けも借りてほの暗い駐車場を横断し、数分後にテスコへ。危険な地域であったら躊躇したくなる行動だが身の危険は感じない。すでにフードコート類は閉店の所もあり 3 階のスーパーに入るもレジは長蛇の列。21 時半を回っておりどうやら 22 時でテスコ自体が閉店らしい。ここを並んで買い物をしてアイスを部屋で食べるのは難しそうだな…と判断したのでアイスは諦め、ポテチとコーラなどを購入。

バンコク初日終了

22 時過ぎにホテルに戻る。エアコンの利いた部屋で冷たいコーラを飲み、汗だくの服を脱いでシャワーを浴びると、さすがに気力体力が回復してきました。

とはいえ同時に睡魔にも襲われてきました。もとより日本では零時を回っており、機内の睡眠の質も良くないので素直に寝ることにする。この頃には到着していた金澤さんと部屋番号と明日の予定を交換し、ホテルのシャトルサービスの存在を聞いて就寝。

2019年10月11日（金）　MF初日の朝

いつも起きている時間ではあるが、４時過ぎには目が覚めてしまう。寝なおして６時過ぎ。空腹にも耐えかねたので起きてしまうことにし、服を着て外へ。
駅までの道を歩くと、途中の商店街で屋台が出ていた。しかし座って朝食を取れる屋台はなさそうだったので焼き鳥や粉物を少々買い、さらにガパオライスの弁当（たったの30バーツ）を購入してホテルに戻る。
いずれも普通に食べられる味だが、特にガパオライス弁当が辛うま！これで100円とかもう最高だな。
なんか明日からも毎朝これでも構わないぞ（笑）。

裏口から会場入り

支度をして部屋を出て８時にフロントでシャトルを依頼。ほどなく来たので乗る。相乗りした他の宿泊客はテスコ前で降り、自分はその次の駅で降りたらユニオンモール前だった。これはいい。さっそくユニオンモールの地下通路を進んでMRT3番出口を発見したので、そこからはShaninのガイドに従ってセントラルプラザを外回りして地下駐車場入口から入り、エレベーターで５階に上がって８時半に会場に到着（当然、開いています）。このガイドは極めて正確であった。偉いぞShanin。

会場で９時になるのを待ってから「リミテッド・ファナティック」の受付を済ませようと思ったら長い列なので後回しにし、あとは９時半までヒマなので飲み物を売ってる所でも探すかと思い会場を出る。

会場横のエレベーターで１階まで降りる。出たところに施設の係員がいたので「飲み物を売っているところはないか」と聞いたら「５階」と答えて来ます。そんなのあったっけ？

モール内のテナントはまだ開いておらずエスカレーターも動いていないものの、モールの廊下は別に閉鎖されているわけでもなかったことから、ふと「もしかしてモール内のテナントの開店自体は 10 時なのだがモール自体は裏口からでなくても入れるのでは」と気がついたので試してみるとビンゴ。普通に正面玄関が開いていました。つまり会場を外回りして裏手の地下の駐車場入口から入らなくても、普通に**正面から入って**廊下を進んでエレベーターに行けば良いことが判明（笑）。明日からはそうしよう。

1 階正面から出たところには屋台街があり、その中でコーラを売っている店があったので購入してモールに戻ることにします。

モール入り口の警備員に会釈をして入る際に、警備員が「MAGIC 5F」と書いた紙を手に掲げていることに気がつきました。ははあ、どうやら開店前のこんな時間に来る奴は全員 MF 会場へ来る奴らであり、会場への行き方を何度も質問されていたのだろうなぁと判明。これでさっき「飲み物は」と聞いたら「5 階」と即答してきた謎も解けました。ていうか**通じてない**じゃん俺の英語（笑）。

めちゃくちゃ無駄足

待ち時間に同じホテルの金澤さんたちが到着。8 時のシャトルには居なかったけど何時のシャトルに乗って来たの？と聞いたら「あのシャトルは客を全部おろしたらホテルに戻るのでフロントで呼んで来たらすぐ乗れる」とのこと。なるほど、そういうシステムか。

そしてホテルのフロントでくれたという地図を金澤さんに見せて貰って愕然とする。

駅からの会場案内に従って昨夜の自分はユニオンモール経由で会場入りしたのだが、実はそんな必要はなく会場へはテスコの駐車場経由で行った方がだいぶ近いしテスコ前まではシャトルで行けるので軽く 5 倍くらいの距離を歩いていた計算に。まあ 30 分もかかるのおかしいとは思っていたんだよね…（涙）。

まあ、おかげでガパオ弁当やマッサージ店を掌握できて良かった（良かった探し）。

早起き LCT シールド

9 時半過ぎに早起き LCT シールド（Early Bird Last Chance Trial Shield）構築のための座席表が発表されたので移動し、ほどなくパックを受け取ってチェックのち構築開始。元取れプールの感じですが、赤黒タッチ青で組みます。

開始待ちの間にプライズウォールでファナティック・パッケージを貰うための列に並び、すこし待ってから色々受け取って会場に戻ります。

《めでたしめでたし》
《鏡細工》
《フェイ隠し》
《魔女の復讐》
《砕骨の巨人》絵違いフォイル
《王家の跡継ぎ》
《ヴァントレス城》

取りレア

Round1　NO SHOW

戻ったらすでにラウンド 1 が始まっていたので「しまった！ 1 GL か！」と思って自分の座席に行くとそこには結果記録用紙が 1 枚。…相手も来ていませんでした（笑）。
そのまま 10 分経過を待って、やはり相手が現れなかったのでジャッジを呼んで結果記録用紙を渡して 1 勝確定。…ま、勝ちは勝ちです。

Round2　Rubalskiy さん　青黒　××

G1　土地が 3 枚で止まって終了。
G2　相手がしばらく土地 1 枚で止まり「勝ったかな」と思ったら 4 マナに達した相手が《欲深い衝動》を打ちこちらの《砕骨の巨人》を奪われて「出来事」で 1 体を焼かれ、さらに 4/3 を出される。ここで「ん？」と思ったのでジャッジを呼んで「出来事呪文を相手が任意の色マナで唱えた後で、続いてクリーチャー呪文で唱えるのもいいのだが、このクリーチャー呪文には赤マナが必要なのではないか？」と聞くとジャッジは本部に持ち帰ったうえで「任意の色マナ」という裁定を出す。えー？
基本的にはこれで盤面がひっくり返って負け。
これで 0-2。シングルエリミなので 20 チケを貰って正午過ぎに終了。次いこ次。

ただしやはりこれはミスジャッジで「欲深い衝動で出来事を解決した後のクリーチャー呪文は別オブジェクトなので赤マナが必要」だった。上告するんだったな。

ダブルアップシールド

リミテッド・ファナティックのバウチャーを使って申し込み、13時からのダブルアップシールドに予定通りにエントリー。実のところ早起きLCTは2回戦で勝ててもドロップの予定だったのだが、できれば勝ちたかったな（PWPとチケットのためですが）。

13時過ぎに開始。さて今度はどうかな？

…安い。緑白タッチ黒で構築。

《評判高い挑戦者》
《鏡細工》
《群れの笛吹き男》
《野生語りの帰還》
《意地悪な狼》　フォイル
《メア湖の海蛇》
《ヴァントレス城》

取りレア

Creatures: 16	Spells: 7	Lands: 17
《麻色の侵入者》	《ガラスの棺》	《お菓子の小屋》
《ジンジャーブルート》*2	《塔への閉じ込め》*2	《平地》＊6
《銀炎の従者》	《巨人の串》	《沼》*3
《群れの笛吹き男》	《魂裂き》	《森》*7
《知りたがりの二人》	《黄金の卵》	
《アーデンベイルの戦術家》	《野生語りの帰還》	Sideboard
《不思議な道照らし》		なし
《放浪馬》		
《獰猛な魔女跡追い》		
《意地悪な狼》		
《オークヘイムのレインジャー》		
《道標のカカシ》		
《独りぼっちのユニコーン》		
《ギャレンブリグの聖騎士》		
《魔法の馬車》		

構築デッキ

Round1　Pinderさん　白赤　×〇〇

G1　《野生語りの帰還》を打ち一斉攻撃の際、なぜか打点を勘違いしブロックされても数えれば勝っていた所を（返しで殺されると思い）投了してしまう。あほですか。

G2　危なげなく勝ち。本来ならこれで終わっていたのに。

G3　今度はちゃんと間違えずに《野生語りの帰還》で殴って打点勝ち。

Round2　Samuel さん　○○

このときはペンを紛失していたので記録できませんでしたが、危なげなく勝てました。

なおこの後、会場内でボールペンが売っておらず、会場外でコンビニや文具屋を探すもその手の**店がなく**茫然とする。結局、ジャッジに借りて難を逃れました。

Round3　Lee さん　白黒　ID

2-0 したのでニコニコ笑って ID を持ちかけたら「いや遊びたいから」とか言われ断られてしまう。言葉を重ねて頼んでもダメだったので内心「なんだと」と思いつつにこやかに「オーケー。勝ったほうが 800 チケット取ろうか」と開始。しかし 1 本目で、こちらがこてんぱんにすると向こうは「…ID する？」と言ってきた。こいつ…。

虫の良さに苦笑しつつ「どうしようかなー」と迷ったふりをする。正直なところ 2 本目を打って勝ったら 800 チケを取って負けたら改めて ID を持ちかけてもいいのだが、そこで 200 チケにこだわるよりさっさと次のイベントに行きたかったので応じる。

これで 2-0-1 でダブルアップの 600 チケを獲得。やったね！次いこ次。

次の LCT ポッド 11 にエントリーする。

フライト LCT シールド　ポッド 11

16 時半過ぎに立つ。まずはレアチェック。

爆弾を含むレアを 5 枚入れた、弱くはない黒緑を組めたと思ったんだけど…。

《魔女の復讐》
《グレートヘンジ》
《恋煩いの野獣》
《意地悪な狼》
《僻境生まれの保護者》
《僻境への脱出》

取りレア

Round1　Ivatts さん　白黒　××

G1　相手が先手 2 ターン目に置いた《群れの笛吹き男》を除去できず負け。

G2　黒黒が出ない事故で手札が腐って負け。

シングルエリミなのでこれで終了。時間的にも今夜の MF マジックは終了です。

今夜の予定と小休止

19 時前に自分の予定は終了。そしてこの頃ちぇけださんらが空港に着いたという連絡が入ります。この時点で山田さんが LCT の 1 回戦で勝利したので最長であと 3 時間、金澤さんが固定 3 回戦シールドの 2 回戦が始まったばかりなのでこちらも最低でも 1 時間。
そこでちぇけださんには、予定通りに 1 人タクシーでホテルに向かってチェックインして荷物を置いたのち会場に来て貰い、合流後に全員が離脱できるようになり次第、皆で飯を食いに行こうというプランになりました。昨日の自分の失敗を鑑みて、ちぇけださんにはホテルの電話番号を教えたりもします。
とりあえず自分は 1 時間以上ヒマなようなので、いったん会場を離脱して海賊版 DVD を売っている露店をひやかしたり、モール地下でマンゴースムージーを注文。冷えていて美味しいです。105 バーツ。

合流して出発

引き続き会場でだらだら待ちます。
20 時前にちぇけださんから「空港を出た」という連絡が入り、20 時過ぎに山田さんが LCT を 2 没したので合流。金澤さんの 3 回戦が始まったので、これが終わったら合流して出られるかな？な勢い。さらにちぇけださんの友人なるみやさんとも合流。
20 時半過ぎにちぇけださんから「ホテル着いた。会場に向かう」との連絡が来たので、終わった金澤さんを含めて全員で待つも、21 時を回っても到着しない。30 分かかるのは初めてなら不思議ではないものの迷ったのならば連絡入れろよと思うも、ちぇけださんは例によって **SIM を購入せず Wifi だけ**で済まそうとしているのではの疑惑が浮上。もしそうならグーグルマップも使えないし、こりゃ道に迷っていたらなかなかたどり着けないかなぁ…と心配するうちに本人到着。やれやれだぜ。ちなみに案の定、SIM は買わず空港とホテルでは Wifi だけで連絡をしてきていました（笑）。つよいな。

チャトゥチャク・ウイークエンド・マーケット

では揃ったので皆で夕食をということになったものの、このモールには普通のチェーン店レストランが中心の模様。そこでチャトゥチャク・ウイークエンド・マーケットは金曜は午前零時までやっていることを小耳に挟んでいた自分が皆を誘う。

このため全員で BTS に乗り隣のモーチットまで一駅を移動。自動販売機でモーチットを指定すると、お金を入れないのにチケットが出てきた。前の人が釣り銭を残したのかな？とも思ったものの、何回試しても切符カードが出てきて、それで普通に通れました。

> ネットで情報を発見できなかったのですが（タイ語サイト読めないし）、ハヤエック・ラットプラオ駅からモーチット駅までの１駅に限っては、ボタンを押すと無料で切符が出てきてそれで通れました。どうやら現在の終点のハヤエック・ラットプラオ駅がごく最近に延伸開通した関係で、１駅無料キャンペーンをでもやっていたようです。これはなかなか太っ腹（笑）。

そして BTS をモーチット駅で降り全員でチャトゥチャク・ウイークエンド・マーケットに入った…のですが、確かに金曜の夜にはウイークエンド・マーケットはまだ営業してはいたものの、ほぼ大通りに面した店舗屋台が開いているだけであって、建物の中の１万店とも言われる店舗は全部営業していない残念な状態で、何より**飯屋が開いておらず**露店の串などをつまむだけでは野郎どもの胃袋は満たせません。土産物屋を横目に歩いてやっと普通の食堂を発見したので入って麺類（50 バーツ位）とコーラを頼み一応空腹は満たされたものの、どう見てもわざわざ BTS に乗ってくるほどではありません。皆に「誘ってすまん」と謝り、50 バーツずつだけ貰って残りは奢りにしました。

あとは食堂の裏口から閉まっている建物の中を突っ切る形でショートカットして外に出て BTS（無料）でモーチット駅からハヤエック・ラットプラオ駅まで戻りました。

口直しの夕食

先の店の麺では量・質ともに満たされなかったのでハヤエック・ラットプラオ駅から北上してユニオンモール方面に歩き、途中のレストランに入ります。冷房が効いていて快適。めいめい適当に肉など皿物を合計 5 枚くらい頼んだうえで全員で分けるスタイルで食事と

ビール（自分はコーラ）を楽しみます。さらに自分はすいかシェーキを投入。
最後に会計を均等割りして終了。1 人 300 バーツくらいだったかな？まあ安いもの。
これでようやく満たされたので、今夜を終えることにしました。そろそろ 23 時です。

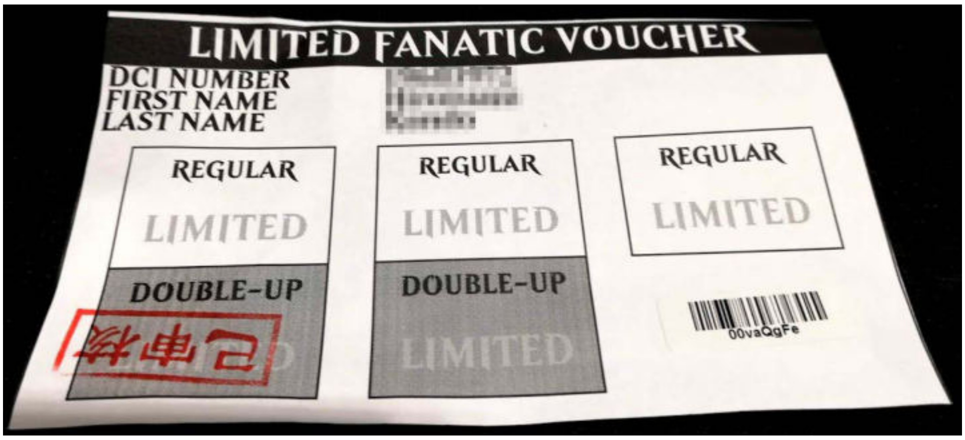
バイタクにチャレンジ

別のホテルのなるみやさんと別れて、我々 4 人組は MRT パホンヨーティン駅前からホテルに戻ることにしました。ここからは商店街を約 10 分程歩くだけなのですが、

駅前でバイタク数台が客待ちをしていたので、好奇心を抑えられなかった自分は、バイタクを試すことにしてみます。金澤さんからホテルの地図を借りてホテルを示すと「20 バーツ」との返事が。惜しむ値段ではないので即応します。3 人は普通に歩いて帰ることにしたので、自分だけがおっちゃんのバイクの後ろに足をあげてまたがり、手提げの荷物を落とさないよう注意して両腕をおっちゃんの腰に回し両手を組むと走り出しました。もう人通りはそんなには多くないものの夜道を割とスピードを出して通ります。涼しいのはいいのですが、**もちろんノーヘル**です。とはいえ何もなく普通にホテルに到着したのでおっちゃんに 20 バーツ払い、記念に写真を撮らせて貰ってから別れてホテルに入ります。

皆よりも一足先に部屋に戻り、ちぇけださんと交代でシャワーを使って零時過ぎには就寝。

自分は MF バンコク 2019 で「リミテッド・ファナティック」にもエントリーしたので「通常イベント３回」「ダブルアップイベント２回」の参加権を持っていました。
ファナティックには規定回数の参加ができるようバウチャーが発行されるのですが、これがバンコク方式。東洋らしく判子（笑）。
…まあ「参加イベントの箱に放り込むだけ」のほうが楽なんですが、バンコクのサイドイベントはほとんど列ができていなかったので無問題。



2019年10月12日（土）　GP本戦の朝

昨夜はマジック日記を部屋で書きつつも睡魔に抗わずに寝てしまったわけですが、案の定５時（日本時間７時）には目が覚めてしまったので、起きて残りの金曜のマジック日記を書いてから寝直して、再度７時に起床。
すでに空腹を感じたので朝食はガパオ弁当の30バーツでいいやということで着替えて出る。
起きていたちぇけださんも誘うも「辛いの好きではない」ということでパスされたので１人で。
屋台で焼き鳥を買ったり、セブンイレブンにも寄って菓子など買ったのちに目的にガパオ弁当を買ってホテルに戻り、いただく。ンマーイ！
ちぇけださんと僕は２バイで本戦は11時までに会場入りすれば良いので、体力を温存の意味でしばらくベッドで横になってスマホをいじったりして時間を潰します。
自分はCivilizationVIを転がしたりも（せめてアリーナで練習をしてはどうなのか）。
木曜にスーパーで買って１枚かじって机の上に置いておいた乾燥マンゴーに蟻がたかっていたのに気がついたので「しまった」と思いつつゴミ箱に放り込む。

会場入り

まだ余裕だが９時半にちぇけださんとホテルを出て、ホテルのロビーでシャトルを出して貰ってスーパーの前まで移動し、そこから徒歩で会場モールへ。
10時にフードコートが開いたので、ちぇけださんの朝飯につきあいケンタへ。自分は、ドリンク45バーツ（注ぎ放題）のみを注文。
朝食を終えると10時半。チキンが辛かったのでパンケーキ屋に入るちぇけださんと別れ「遅れるなよー」と思いつつ自分は会場入り。なお、後で聞いたら案の定ちぇけださんは割と11時ギリギリに会場入りしたらしい（笑）。

GP 本戦

スリープイン構築エリアに入り、ほどなく構築開始。

まずはレアチェック。

レアの命じるままに黒緑タッチ白で構築。レア５枚。コモンの黒い除去がもう少しあると完璧だった（白を足さなくて済んだ）けど、これなら割と行けるのではないかとの手ごたえ。目指せ初日通過。

《巨人落とし》
《魔女の復讐》
《グレートヘンジ》
《むかしむかし》
《意地悪な狼》
《嵐拳の聖戦士》

取りレア

Creatures: 15	Spells: 7	Lands: 17
《巨人落とし》	《煮えたぎる大釜》	《お菓子の小屋》
《ジンジャーブルート》	《塔への閉じ込め》	《平地》＊2
《恋に落ちた剣士》	《黄金の卵》	《沼》＊6
《跳ね橋》	《凶兆の果実》	《森》＊8
《誘いの魔女》	《魔女の復讐》	
《ロークスワインの聖騎士》	《過去と未来》	Sideboard:
《獰猛な魔女跡追い》＊2	《筋骨隆々》	《恋に落ちた剣士》
《ギャレンブリグの木工師》	《華やかな葬送》	《雉狩り》
《意地悪な狼》	《グレートヘンジ》	《むかしむかし》
《沼のいたずら好き》		《自然への回帰》
《ギャレンブリグの聖騎士》		《薔薇棘の見習い》
《チューインベイルのツリーフォーク》＊2		《呪術師のほうき》
《頂の預言者》		

構築デッキ

Round1　BYE

Round2　BYE

Round3　ウラセさん　黒赤　××

G1　《巨人落とし》を除去に使った後のターンで、出せる状況で出し忘れる痛恨のミス。
　微妙にダブシンが揃わなかったりもあり、負け。

G2　マナフラのうえ、除去を引かれまくって負け。

まあ、お相手は《谷の商人》が４枚も入っていてガンガン余った土地を捨ててルートして正解を引いてこれるいい除去コンでした。

Round4　Ow さん　白黒赤　×〇〇

G1　負け。

G2　勝ち。

G3　土地がしばらく２枚で止まって何度もディスカードしたときは死を覚悟したものの、土地を４枚置いてからは回り出し最後は《グレートヘンジ》も出て逆転。脳汁が出た。なおこのゲームでは終わった皆が見に来ていたので後で「ディスカードで《薔薇棘の見習い》捨てるとかない。捨てるくらいなら１マナで出せ」とか色々突っ込まれる。

Round5　Chaovarindr さん　白黒　××

微妙に引きや伸びも悪く負け。晴れる屋の緑のシャツを着ていたのでもしや強いひと？

これで 3-2。早くも後がありません。あと３回。

Round6　Trakulsuk さん　白赤　〇×〇

G1　普通に展開して勝てた。

G2　うっかり手なりで《恋に落ちた剣士》をサイドアウトする痛恨のミス。普段これは正解なのだが相手は白赤の先手。ここは相打ちを取りつつライフを守る必要があった。３枚目の土地を置くまで殴られ続け、４枚目の土地を置いたときには遅かった。

G3　逆に２枚目の《恋に落ちた剣士》をサイドイン。相手に《静寂をもたらすもの》を置かれて除去できずかなり機能不全になる（食物は出ないし格闘できないし追加の +1/+1 も乗らない）も、土地を伸ばして４マナの大型を置き《グレートヘンジ》を置いたら勝てた。まあ誘発がないのでグレートヘンジはただの毎ターン２マナと２点回復のみになったのですが(いやそれだけでも十分強いです）。

Round7　Chan さん　白青　××

G1　マナフラもあって、いなされて負け。最後は手札の３枚の土地を見せて投了。

G2　いなされて負け。

これで 4-3 で、不通過が決定。

18時。まだ30分あったし空腹をさすがに感じたので地下にあったパン屋でクロワッサンと総菜パンを購入して会場でぱくつきます。これで落ち着いた。ではあと1回遊んで帰りましょう。

Round8　Oatnoiさん　白黒赤　〇〇

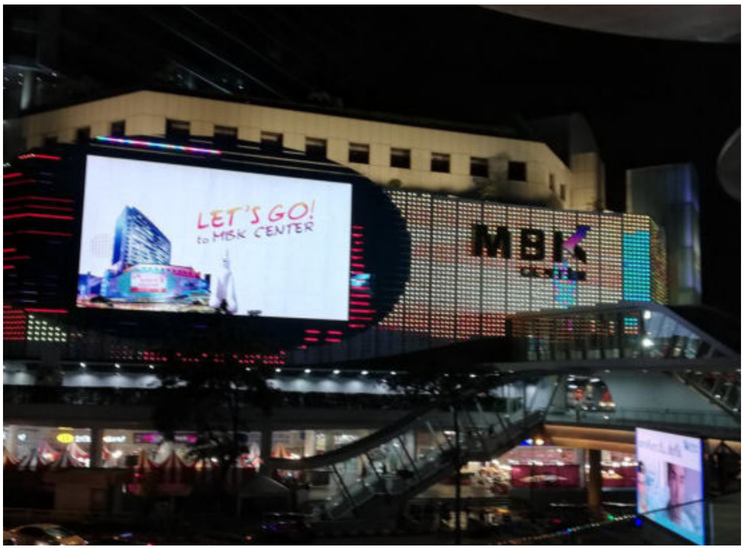
G1　順調に勝てた。

G2　こちらのライフ8、相手のライフ27まで押されるも《グレートヘンジ》を出したらライフは回復するはドローするわクリーチャーは+1/+1が乗るわで逆転勝ち出来た。さすがにチートレア。

結果5-3で終了。残念ですが、まあ楽しかったですね。

アニメイトへ

そろそろ20時。他の皆はまだプレイ中で、終わったらまた夕食に流れるのでしょうけど自分は「まだ21時閉店のアニメイトに間に合いそうだ」と気がついたので、皆に連絡を入れて会場を離脱しました。



BTS駅に行きサイアムまで切符を買う。44バーツ。

20時20分にはサイアムに到着。急ぎアニメイトのあるMBKビルを目指します。歩道橋を登り下りをする必要のあるバンコク繁華街は正直、疲れます。エスカレーター常備して欲しいなあ。

そしてMBKビルの7階に上りアニメイトに到着。
「蒼き鋼のアルペジオ」のタイ語版を探して店内をうろうろして店員にも聞いたのですが結局は扱っていない模様。とはいえ手ぶらで帰るのも何なので、森薫せんせいの「乙嫁語り」の11巻タイ語版を購入。どこの国でもローカライズ版を買えそうな勢いの「乙嫁語り」。世界に広がる森薫せんせい。

あとは下調べをしておいた近くのDVDショップにも行こうと思ったのですが、グーグルマップで検索をしたら「営業時間終了」になっていたので見送り。

鍋をつつく

21時半。金澤さんから「昨夜、帰りがけに通ったレストランでみんなで鍋をつついてます」と連絡が入ったので「行きます行きます」との連絡を入れたうえでBTSへ。
22時にはハヤエック・ラットプラオ駅に着いて、それから徒歩移動して入店。皆はもうほぼほぼ食べ終えていたものの、鍋に火は入っており肉も煮えていたようなので自分で取った肉を投入するとともに底に残っていた肉（みなはすでに満足した模様）を手早くさらって満腹になります。あとはジュース。均等割で350バーツ。ごちそうさまでした。

さすがに残骸しかないので、鍋の写真は割愛（笑）。まあ撮らなかったのですが。

ホテル近くの足マッサージ

まだ 23 時です。徒歩でホテルに戻る途中にある足マッサージ屋を試してみることにします。まだ営業していて 1 時間 200 バーツ（エロなし）。一緒に金澤さんも入ってきて 2 人並んで受けることに。

個人的には台湾のような「足裏」がないので、疲労回復度はやや劣り、自分担当の施術師もイマイチの方でしたけど、まあこの値段なら不満もありません。

薄暗いなか、時折寝落ちしつつ快い 1 時間が経過。

要求されたチップ増量の 220 バーツを払い終了。

日付が変わる頃にホテルに戻り、シャワーを浴びて就寝。

現地コンビニで日本ではあまりお目にかかれないものを買うのも、海外に遊びに行った時の楽しみのひとつですね。

やたらとでかかったポケモンの菓子。ステッカーつき（10 種+シークレット)。量が多くて小分けされていたのでこれは会社土産にしました。

外見と味はほぼ「甘い、うまい棒」。

おなじみ M&M なのですが全然

「お口で溶けて、手で溶けない」

わけではありません。

ただのチョコバーでした。

2019年10月13日（日）　最終日

6時過ぎに起床。昨日のマジック日記を書く。
7時にホテルを出る。朝食はいつものガパオ弁当…ではなく昨日の朝に戻ってきた際に、ホテルのすぐ近くでやっている食堂があったことに気がついたので、ひとつそこを試そうと思った…のだが、どうやら日曜は休みであったようだ。
このため今日は8時に開くテスコのフードコートで朝食にするプランとし、部屋に戻る。今日はチェックアウトが必要なので、部屋で荷造り。
ちぇけださんも荷造りを終えたので、8時には2人で部屋を出てチェックアウト。今夜戻ってくるので荷物をフロントに預けて、シャトルを手配。さらに夜に自分たちがホテルに戻る前にタクシーを呼んで貰うことにした（渋滞でタクシーがなかなか来れないかもしれないので）ため、フロントへの電話が通じるかどうかをテストした後、ホテルを出る。

チャトゥチャク・ウイークエンド・マーケット再訪

シャトルでテスコに移動して、2人で入るがまだ開店はしたもののフードコートは開いていないようだった。このため2人でLotus（スーパー）に入って、菓子やトートバッグを購入したのちに、テスコを出る。
朝食はめいめい取ることにし1時間後のPTQのため会場に向かうちぇけださんと別れてから自分はBTS駅へ。例によって無料のモーチット駅までの切符を買って乗車。
8時半にはモーチット駅に到着し、10分後にはウイークエンド・マーケットの入った所すぐの場所にある以前も利用した飯屋に入る。
後で色々と屋台などでつまむかもしれなかったので朝食は軽めに行くかな、とオムレツとライスのみを注文し、少し待ちます。あと飲み物としてスイカジュースを注文。

オムレツが到着。予想よりもだいぶ**でかい**。卵は４つ使っているのかな？
フォークとスプーンで切ってかじると口にじゅっと濃厚な脂が出ます。このため普通にライスや野菜と合わせておいしくいただきました。

値段を見ないで注文したけど勘定は…180 バーツ。んー…おいしかったけど、この内容にしてはちょっと観光地にしても高くね？と普通に思いました。次回はパスかなぁ。

マーケットで買い物

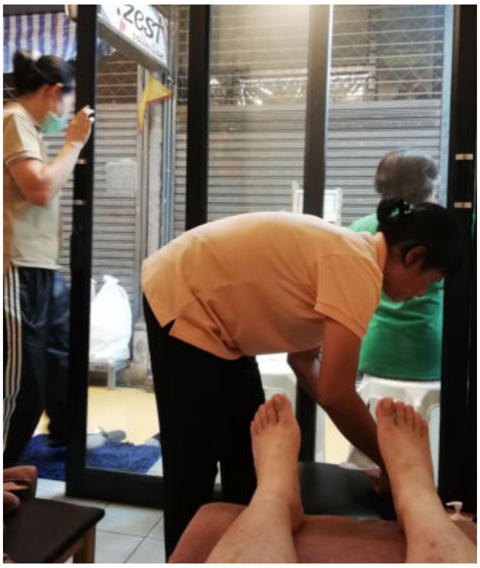
朝食を済ますと９時。もうウイークエンド・マーケットは準備中の所もあるものの普通に開いています。中に入ってぶらぶらと。会社へのバラマキ土産は昨日買ったピカチュウのスナックで済ませるつもりだったので、基本は女房からのリクエストを消化する形で。
ティーバック入りお茶（たくさん）240 バーツ、シルクのスカーフ 250 バーツ、ハンドクリーム 300 バーツ。まったく金のかかる女だぜ！（注：とても安いです）。

さらにいつもの古書コーナーに行って色々物色すると、**横山光輝の「三国志」タイ語版**のコンビニ本のサイズのものが数冊袋に入っていました。へえ、タイにコンビニ本ってあるんだ…っていうかコレ欲しいな！
値札が見当たらなかったので店員に「いくら」と聞くと店員は「それで全部じゃないよ」と横に積んである分を見せてくる。「全部で 700 バーツ」。買ってどうするというのはあるが３千円ならぜんぜん OK…とも思うも明らかに荷物として多すぎるので泣く泣く購入を断念。

その後、佐川がマーケットから日本への宅送サービスをやっていることを知り、送料は不明なものの「あるいは、コレを利用して横山三国志タイ語版を…」とも一瞬思ったものの**正気に戻って**購入は断念。

例によって100バーツの似顔絵屋が店を出していたので、あるいは去年に続いてまた頼むかと思うも、まあネタなら一度でいいかなと思い、見送り。

マーケットの足マッサージ



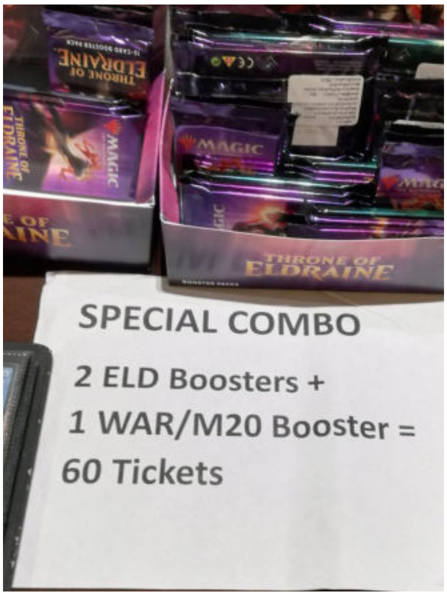
Tシャツを買うなどしてそろそろ11時。結構歩いたから30分の足マッサージを頼もうと思って客引きに応じる。30分180バーツ。1時間300バーツを勧めてくるも、それだと12時半の会場入りが危なくなるので断る。しかしマッサージルームの中に入るなりキンキンの冷房が入っているのが心地よく、さらに施術を受けると「これは腕がいい」と分かったので時計を見ながら「45分に延長」と伝える。
まあ昼飯を抜けばいいや。

会場入り

マッサージを終えるとマーケットを出て、BTSモーチット駅へ。方向を間違えて反対側の出口から出てしまい大回りするも、11時45分には駅に到着し、1駅乗ってから正午には会場入り。無事に12時30分開始のダブルアップ・シールドにエントリーしました。

結局、まだ30分あるので手早く会場を出て、下のフロアのすいている喫茶店で（昼食時なので料理店は混んでいました）ストロベリーレモンスパークを頼んで飲んだりします。

スペシャル・コンボ



これからダブルアップ・シールドでチケットを狙うのも良いのですが、過去の例では日曜になるとプライズウォールにろくなものが残っておらず引き換えるものがないということもしばしばあったことから、プライズウォールを覗くと、案の定こんなことになっていました。今回は当初は20チケットで「灯争大戦」「基本セット2020」「エルドレインの王権」のブースターパックを1パック獲得できたのですが、交換レートが同じならば誰でも最新セット「エルドレインの王権」を交換するに決まっているわけで（笑）、エルドレインの王権だけの交換は応じなくなり、2パックと他の1パックという**抱き合わせ**になったわけですね。別にいいんですが過去の例ではこれすらも切れる可能性も危惧されたため（笑）、手元にあった420チケットを出して7セットをまず交換しておくことにしました。

ダブルアップ・シールド

そうこうするうちに時間になりダブルアップシールドの開始です。青シャツのリッカルドというレアなキャラが配ったパックを手にして開始。まずはレアチェック。
神話レアの《永遠の大釜》つよそう！　と見て最初は問答無用で入れたものの、しげしげと見ると自分から墓地に落とすデッキを作らないとそれほどにはリミテでは強くないなと思えたので抜く。

《願いのフェイ》
《永遠の大釜》
《残忍な騎士》
《切り離す一撃》
《野生語りの帰還》
《ロークスワイン城》

取りレア

Creatures: 14	Spells: 10	Lands: 17
《穢れ沼の騎士》	《魂裂き》	《ロークスワイン城》
《ジンジャーブルート》	《限りない食欲》*2	《魔女の小屋》＊2
《真夜中の騎士団》	《ケンリスの変身》	《沼》＊8
《残忍な騎士》	《黄金の卵》	《森》＊7
《薔薇棘の見習い》	《凶兆の果実》	
《抜け目ない狩人》	《紋章旗》	Sideboard:
《意地悪な後見人》	《パイ包み》	《記憶盗み》*2
《ロークスワインの聖騎士》	《欲深い衝動》	《死霊の金切り声》
《墳丘の魔女》	《野生語りの帰還》	
《ギャレンブリグの聖騎士》		
《寓話の守り手》*2		
《夜の死神》＊2		

構築デッキ

Round1　Mindermainさん　青黒緑　○○

G1　相手先手ワンマリ。相手に《欲深い衝動》を使われて《欲深い衝動》を抜かれるも、相手の土地の伸びが悪く、再度それを使わせないまま畳み掛けて勝ち。

G2　《限りない食欲》や《ケンリスの変身》を抜いてハンデス3枚をガン積み。そしてまたしても相手が先手マリガンだったこともあり、相手の手札も抜いて圧勝。相手も《記憶盗み》を使ってくるも、その時点ではこちらの5マナクリーチャーが複数並んでおり決め技の《野生語りの帰還》を抜かれただけで終わった。勝ち。

Round2　Angさん　青黒　○○

回りが良く勝てた。やはり青黒なのでハンデス3枚をサイドイン。メインで良かったかも。

Round3　Ryanさん　ID

IDが成立して終了。よっしゃ600チケをゲットだぜ！

即座にプライズウォールに行って、コンボセット10に変換。合計30パック。

交換を終えると15時半を回っています。16時半のシールド3にエントリー。これを終えたらMFバンコクは終了ですね。小1時間あるので会場を出て遅い昼食にします。

ココイチ

昼飯は何にしようかなーとモールを降りながら歩くと、ココイチがありました。
明日には日本に帰るのですが、日本でもしばらく食べてなかったので、ここでもいいかと入店。
いつものフライドチキンカレーを注文。
ジャポニカ米でルーの味もまったく同じピリ辛スパイスも同じなのですが、例によってフライドチキンが**カリカリ**に。
やはりこれは日本のもちもち揚げのフライドチキンのほうが好みだなあと思いつつ完食。

シールド３

16 時半過ぎに開始。3 回戦の固定なので勝っても負けてもこれで終了です。まずはレアチェック。

…最後の最後まで「お前は素直に黒緑をやるんだよ！」なプールでした（笑）。まあ基本強いし好結果でしたが。

《悪ふざけの名人、ランクル》
《願い爪のタリスマン》
《朱地洞の族長、トーブラン》
《貪るトロールの王》
《屋敷の踊り》
《アーデンベイル城》

取りレア

Round1　Supachai さん　白赤　×〇×
G1　相手先手で高速でまくられて負け。
G2　橋も出て相手の勢いを殺して勝ち。
G3　マナフラだわハンデスも空振りするわで負け。

結構、いけそうなプールだという手ごたえがあったのに気落ち。この頃には全員で撤退のタイミングを調整していたので、皆には「次負けたらドロップでいいです」と宣言します。

0-2 だと 3 回戦は「勝てば 20 チケ、負ければ 0 チケ」のしょっぱい戦いになるので、急いでいる時に無理にやることはないでしょうな感じ。

Round2　Buckley さん　白青　〇〇

普通にまくって勝てました。

Round3　Passakorn さん　ID

というわけで 110 チケを貰って終了。

金澤さんの 100 チケと合わせて 210 チケを、コンボセットを 3 つと灯争大戦 1、さらにスリングバック 1 に交換。山分けしてエルドレインの王権 3 パックと灯争大戦 2 パックを獲得して終了(スリングバッグは金澤さんにあげました）。これで全イベント終了。

Creatures: 14	**Spells: 10**	**Lands: 17**
《ジンジャーブルート》*2	《魂裂き》*2	《魔女の小屋》
《知りたがりの二人》*2	《限りない食欲》	《沼》＊8
《跳ね橋》	《黄金の卵》*2	《森》＊8
《ロークスワインの聖騎士》	《凶兆の果実》	
《悪ふざけの名人、ランクル》	《紋章旗》	
《不死の騎士》	《糸車》	
《沼のいたずら好き》	《パイ包み》	
《ギャレンブリグの聖騎士》	《華やかな葬送》	
《寓話の守り手》*2		
《貪るトロールの王》		
《豆の木の巨人》		

構築デッキ

夕食

20 時を回りました。全員出られる状態になったので、皆でテスコに移動して夕食にすることにしました。フードコートのフジレストランに入店します。

4時間前にココイチにしたばかりの自分はそんなに空腹ではなかったので、軽くざるそばを注文。あとパイナップルジュース。
まあ普通にいける味です。

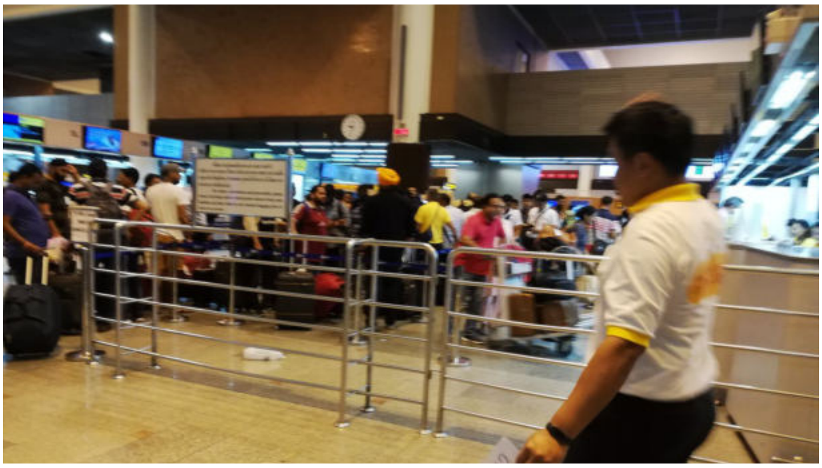
これを食べたら、自分とちぇけださんと山田さんの3人でホテルで荷物を回収してタクシーで空港に行って終了ですが、フロントから「日曜の夜は呼んでもタクシーがなかなか来ないかもしれないから30分前に電話をくれ」と言われていたのでレストランをそろそろ出られる頃に電話をするも、相手の英語が聞き取りづらく、担当も別の人間らしく話が通っておらず、荷物は何個かとか伝えても色々話が噛み合わなかったのでホテルで直接頼むことにしました。どうせここからなら歩いて5分でホテルです。

ドンムアン空港へ

20時50分、別のホテルのなるみやさんと別れて、ホテルに着いたので荷物を引き取ってドンムアン空港へのタクシーを依頼。少ししてからタクシーが到着したので、スワンナプーム空港経由で帰る金澤さんとバイバイして3人でタクシーに乗車。
タクシーは酷い渋滞というほどのこともなく（ときおり前の車のため速度が低下するも、完全停止することはなく）40分ほどで21時半にはドンムアン空港ターミナル1に到着。
まあ問題なし。ここで支払いをいったんまとめて自分がやろうとして財布を出したら高額紙幣しかなかったので、山田さんが支払いを行う。

> ちなみにこの時に財布の中のクレジットカードが車中に滑り落ちてしまっていたことが判明して後に肝を冷やしました。幸いにして運転手が届けてくれて事なきを得ましたが。まあこのカードは今年の12月で期限が切れるので、落としても停止すればダメージは結果的にはさほどではなかったのですが（もう来年以降の決済にはすでに使えないし）。

そして案の定のドンムアンの空港カウンターの酷い混雑。自分は0時45分発スクートTR868であり、まだ3時間以上あるので常識的にはまだ余裕の時間なのですが、例によってカウンターの最後尾がどこなのか分からないほどの



カオス振り。案内板で見ると自分の便は遅延もなく5番カウンター、ちぇけださんのスクートの便は6番カウンター。そして23時55分と1番に早く出る筈のエアアジアの山田さんがなぜか**ターミナル2に変更**されていたうえ**午前4時に遅延**。ご愁傷様。ま、月曜は祝日だから多少は遅れても仕事に響かないのが不幸中の幸い。

実のところこの週末の10月12日（土）に過去最大級とも言われた台風19号が関東に上陸して猛威を奮っており、このためBMOがいちはやく開催中止を決めて喝采を浴びたり（というより関東のほとんどの店は結果的に土曜は営業を中止したようです）したのをバンコクから眺めていて~~メシウマ~~心配していたものでした。土曜日には成田空港のかなりの便が欠航して日曜にも影響が出ていたので「こりゃ、成田からバンコクに来る便が来ないで多少の遅延はあるかもなぁ」と予想していたのでした。

5番カウンターに至る列に係員が「TR868 NARITA」と書いた紙を持っており、どうやら最後尾が判別可能だったので並びます。しかし**列が全然動きません**。これを警戒して「ドンムアンには3時間前に入ったほうがいいな」と判断して早めに来たのですが。もっともこの5番カウンターの列ではしばしば「シンガポール行きの人いませんか」とも呼びかけており、実のところ僕らのTR868よりも早く23時頃に出る別の便の人を先に通しています、ていうかまだ僕らの便の受付を開始してないよね。列が動かないわけだ。…ということは、よく考えたら結局のところこれは3時間前に来て**並ぶ意味がない**のではないだろうか（笑）。むしろ2時間前なりに来て、並ばずどこかで飲み物でも飲んで時間を潰してからこの「呼びかけ」が始まったら列を無視して通るのが正解なのでは。

そういえば１年前に来た時も、最後尾が分からないこの列にパニックになりかけたけど、結局は自分は係員に案内して貰って中に入ってすぐ短いカウンター前の列に並んで券を貰ったんだよな（PPTQ バンコク 2018 参加記）。それがドンムアンしぐさなのかも。

出国

22 時過ぎに列が動き出したらあとは待つだけの状態になり、チェックインと荷物預けとイミグレとセキュリティを 22 時 40 分には通過。これでもう大丈夫。やれやれですね。
あとは飲み物を買ったりパイナップルサンデー 24 バーツを買ったりして 24 番ゲートで待ちます。腹が減ってもきたので 23 時半にマクドナルドを投入 215 バーツ。
あとは眠気をこらえつつ待ち、零時過ぎに搭乗が始まったので着席。あらゆる意味でもう寝ていればいいし実際に眠い（今日は２万歩歩いていました）ので、通信を切って爆睡。

帰国

4 時 50 分、小さい照明がつきます。時計を日本時間に戻して 6 時 50 分（ここからは日本時間で記します）。機内販売のミニッツメイドを購入し、飲みます。100 バーツ札を出しシンガポール硬貨 40 セントのお釣り。ま、いずれ使う機会もあるでしょう。
8 時に明るい照明がつき、税関申告書が配られます（日本語の用紙なし）。
あとは何事もなく 8 時 40 分には成田空港に到着。10 分後に機体が停止。さくさく歩いて 9 時にはイミグレを通過して荷物待ち。少し待って 9 時 20 分には空港を出て、ちょうど来た 9 時 23 分のアクセス特急に乗車（ただしそこそこ混んでいて座れず）。途中で座れ、10 時 10 分に青戸駅に定刻で到着し、駅前のタクシーを拾って 10 分後には我が家へ。
「お家に帰るまでが MF」なので、これで全日程が終了しました。終わってみれば楽しいことばかりの MF バンコクでしたので、是非２年後にでもまたやって欲しいものです。

（完）

今回訪れた主なスポットは、こちらになります。

Copyright:Google

MF 会場が市の中心部から離れた所にある大型ショッピングモールにあると、どうしても近場で済ませてしまって「市内観光」に行きにくくなるというものですね。

MF バンコク 2019 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック　https://twitter.com/kondohi

発行日：2019年12月31日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（ひろじ）について：

https://twitter.com/kondohi　（ツイッター。最近はここメインです）

http://otakutalker.diarynote.jp/　（ダイアリーノート。マジック関連はここで）